



このコーナーは県出身者で各界のトップとして活躍しておられる方々を紹介するとともに、県政への提言などをお聞きするものです。

# 望郷の俳人

中村汀女



▲江津湖畔にある家の庭にたたずむ汀女さん

上江津の湖畔。鬱蒼とした庭の木々に囲まれた生家に中村汀女さんを訪ねた。

「江津湖からときどきおやじ達も漁や潮干狩に行くといつて、舟で下っていきよりました。大変楽しそうに出かけてましたよ。」と往時を回想される中村さんにとって、江津湖は切っても切れない心のふる里である。

中村さんは、熊本県立第一高女卒、中村重喜氏（大蔵省官吏）と結婚。俳人。十月二十六日、二十五周年記念を迎えた句誌「風花」を主宰。十一月三日には芸術功労者として勲四等宝冠章を受章した。

住所は東京都世田谷区代田だが、熊本への帰郷もしばしばである。熊本市出身。本名破魔。七十五歳。

## 酒豪の周恩来さん

○ 実は、先生にお会いするということが、日経の「私の履歴書」を読んでもありましたら、中国に行かれたことがでておりました。世の中の移りかわりで、日中国交が正常化し、時の話題になっておりますが……。

☆ きょうはね、こちらにくる飛行機の中で中国の音楽を流しているんですよ。驚きましたよ。

○ そうですか。やりますね。ところで中国に行かれたのは昭和三十一年でございましたね。

☆ 大変大事にしてもらいました。天安門で国慶節を見せてもらって、毛さんとも握手してもらいました。周恩来さんは、いわゆる円卓を全部まわってやりましたね。

○ 相当強いんですね。

☆ ほんと、大変強くて日本人はもう死んだようになってしまったのみつぶされて……（笑）

## 熊本の女性感

○ 東京あたりからご覧になる熊本の女性観といえますか、そういうふうなのは……。

うねらいです。そして熊本の自然を大事に、緑を大事に、美しい熊本を作り上げていこうと、こういうような運動なんです。その一番手始めの仕事として、この江津湖をきれいにして……、特に先生が江津湖畔のご出身ですので、それから、そこをじっくりお伺いしたいと思っております。

☆ それは大いに言わせていただきたいですね。私から一言言いたいことは、あんまり県からも市からも江津湖に手を入れていただきたいということですね。それがひどく崩すことですもの。「手を入れることは崩すことなり」というような感じがいたしますよ。

めったな遊技施設もほんとはいらないだろうし、ある程度、岸から家を離すとね。結局、水だけきれいになっても、岸辺がきれいではなれりゃつまらないでしょう。

私水がヒタヒタときている。それから豊富な出水「私達「でみず」といっていただけれども、そういうところをなただけ残していただきたいと思えますね。

○ 去年はあんまり繁茂したものですから、タイワンナギを自衛隊に頼んで取り除いたんですが、水は十年前はかなりきれいでしたがね。

この人と30分

このコーナーは県出身者で各界のトップとして活躍しておられる方々を紹介するとともに、県政への提言などをお聞きするものです。

☆ 女性観なんかについても、自分達の仲間ですからね。ちょっと批評も何もありませんよ。

○ よその国といえますか、他県の女の方と比べて熊本は……。

☆ やはりそれは私のお弟子さんは殆んど女の方ですから、その人達と比べるとやっぱりサッパリしていますね。明るいんじゃないかしら。

○ さっぱりしていて明るいということ、は、執着心が少ないということにもなりますね。

☆ いい意味の執着心で……（笑）執着心が少ないということになるでしょうね。物事をぞんざいにするという風に言っちゃだめよ……（笑）

○ 女性観だけでなく、熊本には「肥後もっこす」とか言われていますが、東京に永らくいらっして、熊本はあんなところがいけないとか、こんなところはいなあとか……。

☆ 「肥後もっこす」というのは、ある意味ではそれくらいに気概があつてよろしいと思えますけれどね、ある点では大変損、マイナスになる事ではないでしょうか。

○ 私達よく耳にしますが、鹿児島あたりは一人の偉い人が出ると、それを皆で押し上げてやる。熊本は足を引っ張るといふことなんですが、やっぱり東京でそう

いうこともお目にとまりますか。

☆ そこまでは私……どんな方が偉いか、あんまりそのお偉方のおつきあいがございませぬし、そこまで感じませぬけれど……そういうことをかりそめにもお互いが感じ合うということは、ひどく本当に熊本のために悲しいことじゃないでしょうか。郷を出てる者達は、大なり小なり熊本をしょっているような気がしますよ。

私の友達なんかは、「先生、熊本に悪かもんはおりましたね」という風にさえずり込んでいますからね。ことに第二のふる里だと思いついてるのに、そんな寂しい、話を聞くのは、ちよつとしゅんとなりますね。

## そつとして欲しい

### 江津湖

○ 話は変わりますが、熊本はいま、「美しい熊本づくり運動」というのを始めたんですね。

☆ 結構ですね。大いに。

○ これは、県民運動として、上からといますか、県庁とか市役所、町村役場から呼びかけるよりも、住民の一人一人が自分の庭先を掃くことから始まる住民運動として盛上げていきたいと、こうい

☆ 私達飲んでましたもの。

○ それが今は「どぶ川」になって

☆ どぶでしょう。それは残念ながら近頃はご不浄が水洗になったでしょう。それでどぶと江津湖に流し込んでるんじゃないかしら。

○ 周辺に家が密集しはじめましたからね。

それから動物園などが出来ましたものですから……。

☆ 動物園だと抜け羽が落ちるし、それから臭もするしね。えらいところにもってきましたね。

○ 近頃は、子供達は遊泳禁止とか。

☆ 泳げませぬね。江津の学校にプールがあるから驚いている次第で。

## 江津湖を 散歩天国に

○ 経済優先から人間尊重へと時代は変わってきましたが、昔のようにへいぎで川で泳げるといふような状態を取りもどすためにはどんなことをすればいいのでしょうか。

☆ 江津湖に限って言えば、下水をなんとかよそに導くようにするか、とにかくもう少し岸辺に家を建てさせないという規制がまず必要じゃないかしら。何メ